
逃走者・逃亡者

jock

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走者・逃亡者

【Nコード】

N2174J

【作者名】

jock

【あらすじ】

1人の殺人者と脱獄者が手を組み逃走を計画。長い逃走（逃亡）生活が始まった。

逃走0日目 決意（前書き）

まったりどうぞ。

逃走0日目 決意

「はあ…、はあ…。」

目の前にある死体を見てオレは恐怖と不安、まるで悪い夢でも見ているかの様な感覚を知った。

それが自分が犯したことだと理解するのに数分かった。

これからどうすればいいのか？自首するべきなのだろうか？
そんなことがオレの頭の中を埋めつくした。

捕まりたくない……

その言葉が一本の矢のように、いっばいっばいだった自分の頭を貫いた。

逃走……、いや、逃げてもどうせ捕まる。

だが仮に捕まらなかったとしても、自分にはろくな生活が待っているわけでもない。家庭もない、仕事も趣味も。

「逃走か……。」

オレはそう呟いていた。失うものが何もないのなら、逃げて逃げて逃げまくって、罪から逃れる時を待つのも1つの手段なのかもしれない。

そうだ、どうせ生きていても無駄な人生だ。自殺を考えたこともある。

ならば、いつそのこと、めちゃくちやに生きてみようか。殺人の

罪に問われる身だと言うことに変わりはない。

逃走を決意したオレは次に計画を考えた。逃げる以上、ここに長居するわけにもいかない。

とりあえず金目の物を頂くことにした。財布、預金通帳、高価な宝石など。

次に遺体の始末だった。こちらの近くに神龍川という急流の川がある。流されたら一生見つからないと言われるほどだ。そこに棄てれば警察の捜査も遅れるだろうと考えた。

計画を立てた自分は、さっそく行動に移すことにした。まずは死体の遺棄、神龍川に向かおう。

このマンションに来たとき真上にあつた太陽は西に傾きかけていた。真夏の太陽が自分の体を焦がすかのように輝いている。まるで逃走しようとするオレを笑っているみたいだった。

早く行こう。そう思うのだが、なかなか進む気にならない。死体を詰めた大きなバックが重いから進む気になれないのか、いや違う、ほんの数時間前まで1人の人間として生きていた自分が1人の犯罪者として生きていく人生に、ここまで来て疑問を抱いてしまっていた。

皮肉なものだ。生きていても仕方がない人生なのに犯罪者として生きる人生に恐怖を感じてしまっている。

「・・・・・・・・・・」

考えるのはよそう。オレは殺人者だ。逃げるしか方法はないんだから。

オレは重い死体と足を引きずりマンションを後にした。長い逃走生活が始まった。

P M 5 : 4 5 逃走開始

逃走0日目 決意（後書き）

次回はいつになるのやら。少し長めに書きます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2174j/>

逃走者・逃亡者

2010年10月10日02時30分発行